

1 令和5年度のSDGsの推進

【兵庫県SDGs推進本部会議】

作成年月日 令和5年4月17日
作成部課室名 企画部SDGs推進課

世界共通の目標であるSDGsの視点を県政に取り入れ、部局間の緊密な連携のもと、総合的かつ効果的にSDGsを推進し、社会課題の解決と地域活性化の両立を図ることで、兵庫のブランド価値を向上し、人・モノ・情報・投資が集まる持続可能な兵庫の実現を目指す。

1 令和5年度の主なSDGs施策

(1) 横断的取組



ひょうご フィールド パビリオン [企画部]	大阪・関西万博を契機に、県全体をパビリオンに見立て、 <u>SDGsを体現する地域の活動の現場そのもの(フィールド)</u> を地域の方々が主体となって発信し、多くの人に来て、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開 ○プログラム 113件(第1次認定) ○プレミア・プログラム ①尼崎運河クルーズ ②播州織ものづくり体験 ③自然エネルギー活用「湯がき体験」 ④丹波焼の里を訪ねる ⑤沼島おのころクルーズ	ひょうごSDGs Hub [企画部]	多様な主体が連携してSDGsに取り組むための公民連携組織として「ひょうごSDGs Hub」を設立。企業や団体等とともに「知る」「取り組む」「つながる」の3段階で普及啓発事業等を展開 [R5取組予定] ○専用サイト構築(夏頃) ○ひょうごSDGs WEEK(詳細は次頁) ○ひょうごSDGsシンポジウム(仮称)(10月) ○学生向けSDGs普及啓発事業(秋頃)
SDGs 公民共創 プロジェクト [企画部]	SDGsの幅広い分野から、特に優先的に取り組む「SDGs共創重点テーマ」を設定し、 <u>企業や団体、大学等と県がそれぞれのリソースを持ち寄り、共に創り、育てる「SDGs共創事業」</u> を実施 [重点テーマ] ①ひょうごフィールドパビリオンの展開 ②カーボンニュートラル社会の実現 ③スタートアップによる社会課題の解決 ④陸と海のサステナブル産業化 ⑤持続可能な多自然地域づくり ⑥Well-being兵庫の実現 ⑦ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ⑧兵庫五国の文化・産業に根ざした地域産業のブランディング ⑨次代の人づくり ⑩社会におけるスポーツの価値向上	地域の脱炭素 化に向けた グリーンボンド [財務部]	脱炭素化の普及を推進する本県の施策を広くPRし、一層の機運醸成や施策の推進を図るとともに、 <u>県債の購入を通じた県政への参画を推進</u> するため、グリーンボンドの発行をさらに拡大 ○R4発行実績 計200億円(県単独発行) ※ 国内市場公募SDGs債で過去最多となる延べ218件の投資表明 ○R5発行予定 計240億円 (県単独発行200億円、道府県等との共同発行20億円、市町との共同発行[全国初]20億円)
		ふるさとひょうご 寄附金を活用 したSDGsの 取組推進 [財務部]	ふるさとひょうご寄附金を活用し、SDGsを推進する事業を実施するとともに、返礼品にSDGsに資する農林水産物や地場産品等を積極的に採用・提供 ○R4寄附実績見込 約1.6億円

(2) 県民・事業者向けの取組

乳幼児保育等におけるSDGsの取組への理解促進 〔福祉部〕	乳児期、幼児期において、日常の生活や遊びの中でSDGsに関する感性を育てるため、 <u>認定こども園等を対象とした研修</u> を実施 ○研修内容 講義、園での取組事例の紹介など	じばさん兵庫 SDGs推進事業 〔産業労働部〕	SDGsの取組支援を通じて地場産品の魅力向上を図り、地場産業のブランド価値向上を推進 ○推進宣言産地（R4）13産地（R5）15産地
SDGsチャレンジ・脱炭素イノベーション創出支援事業 〔産業労働部〕	グローバルなSDGs課題解決を目指すスタートアップ等の事業構築を支援するため、セミナー、メンタリング、海外実証等を実施 ○R3・R4実績 33社採択のうち16社海外実証実施 ○R5年度は脱炭素関連10社、その他SDGs関連10社を採択予定	ひょうご農林水産ビジョン 2030×SDGs推進プロジェクト 〔農林水産部〕	SDGsに対する農林漁業者等の理解を進め、取組の見える化を推進し、県内外へ発信 〔R5取組予定〕 ○セミナー、シンポジウムの開催 ○取組拡大のための専門家派遣、事例集作成
ひょうご産業SDGs推進宣言・認証事業 〔産業労働部〕	SDGsの達成に向けて取り組む中小企業の推進宣言制度に加え、新たに <u>認証制度を創設</u> ○R4宣言企業数 391社 ○R5認証企業目標数 400社 ○R5取組予定：認証制度創設イベントの開催、推進宣言・認証申請の募集（各3回程度）	生物多様性に向けたSDGs国際フォーラム 〔環境部〕	県民・事業者が生物多様性に向けた地域の取組について認識を深めるための国際フォーラムを開催 ○内容 生物多様性等の講演、シンポジウム等 ○時期 10月 ※内容・時期は予定
		ひょうごSDGsスクールアワード 〔教育委員会〕	地域資源を活用し、教科等横断的な視点で体験活動や学習に取り組み、子ども達が主体的にSDGsに資する活動を行う県内の学校・園を顕彰 ○R4実績 応募：40校園→顕彰：16校園（最優秀賞4校園、優秀賞12校）

2 ひょうごSDGs WEEK

令和4年度、SDGsに取り組む機運醸成を図るため、全庁を挙げてSDGs施策を集中的に実施する“兵庫県庁 SDGs WEEK”を初めて開催した。令和5年度は、市町・民間団体にも参画を呼びかけ、オール兵庫でSDGsを推進する。

- (1) 期間 10月23日(月)～29日(日) (R4:10/24(月)～30(日))
- (2) 対象 県庁、市町、企業、団体、学校等
- (3) 兵庫県SDGs WEEK 推進事業費補助【R5新規】
企業や団体等が実施する、SDGsの普及に資する先導的な取組に対して助成し、SDGsの取組の裾野を拡大
○助成上限額：15万円（補助率：1/2）
○助成団体数：5団体
○募集時期：6～7月頃（予定）
- (4) 情報発信 ひょうごSDGs Hubウェブサイト等で情報発信

〔協力依頼〕

- ・ひょうごSDGs WEEKに合わせた各種県施策の実施
- ・関係団体等への呼びかけ、民間団体等との公民協働による事業の実施



オール兵庫での一体感のあるSDGsの推進

1 地方創生SDGs

地方創生の深化には、中長期を見通した持続可能なまちづくりが重要であり、SDGsの理念に沿って推進することで、政策の全体最適化、地域課題解決の加速という相乗効果が期待できる。このため、SDGsを原動力とした地方創生(=地方創生SDGs)を推進することで、地方創生の充実・深化を図る。

2 SDGs未来都市

地方創生SDGsの達成に向け、優れた取組を提案する地方自治体を「SDGs未来都市」に選定(30都市/年)。その中で特に優れた先導的な取組を「自治体SDGsモデル事業※」として選定・支援(10都市/年)し、成功事例の普及を促進する。

〔選定都市〕16道府県139市区町村 うち県内は5市町(明石・姫路・西脇・加西・多可)
※モデル事業選定の場合、上限2,500万円の補助金あり(ソフト1500万(定額)ハード1000万(1/2))

3 SDGs未来都市提案書の構成等

構成・配点

(1) 全体計画

- ① 将来ビジョン (地域実態、2030年の姿、優先的ゴール・ターゲット)
- ② 自治体SDGsの取組 (将来ビジョン達成に向けた施策等)
- ③ 推進体制等 (行政内部の体制、ステークホルダーとの連携等)

(2) 自治体SDGsモデル事業

- ① 経済・社会・環境面の取組
- ② 3側面をつなぐ統合的取組
- ③ その他 (ステークホルダーとの連携、継続性、実現可能性)

評価ポイント

- (1) 持続可能なまちづくりに向けた他のモデルとなる先導的な取組か
- (2) 実現可能性、具体性、継続性の高い取組か
- ※ キーワード…脱炭素・カーボンニュートラル、デジタル・スマート化、SDGs金融
- ※ 全体計画は差がつかず、モデル事業の評価で差が開く傾向

4 スケジュール

2月末	提案書提出
5月中下旬	内閣府結果公表、授与式
選定後(夏)	SDGs未来都市計画書策定

1 全体計画

タイトル 公民連携により 未来へつなぐ 持続可能な兵庫

2030年のめざす姿 兵庫が有する五国の個性、進取の気風、培ってきた自力を活かして、企業、団体、県民とともに オール兵庫で持続可能な兵庫を未来へつなぐ

- 【経済】 新たな価値を生む経済
- 【社会】 住民自ら創る、住み続けられる地域
- 【環境】 未来へつなぐ環境優先社会

施策

① 社会課題を見だし、解決に取り組んでいく 新たな挑戦の創出

- 社会課題解決に寄与するスタートアップの育成 (ひょうごTECHイノベーション等)

② 兵庫の強みを活かし、持続可能な未来を見据えた 次世代・成長産業の育成

- 水素・蓄電池をはじめ、SDGsの達成に資する次世代成長産業の育成

③ SDGsの視点からの 中小企業のブランド価値向上

- 企業のSDGsの取組促進 (ひょうご産業SDGs認証事業等)
- 地域経済を支える中小企業の持続的発展 (地場産業支援等)

経済

④ 関西と瀬戸内の結節点「兵庫」の地の利を活かした 大交流圏の形成

- 兵庫テロワール旅の推進
- 日本を先導するユニバーサルツーリズムの推進
- 関西・瀬戸内大交流圏の形成

⑤ 豊かな 環境の創造と所得向上を両立する農業の実現

- スマート化による持続的な農業の発展
- コウノトリ育む農法など環境創造型農業の推進
- 県産県消による農業振興と食育の推進 (学校給食での県産食材供給拡大等)



施策

社会

① 誰もがいきいきと安心して暮らせる社会づくり

- 創造的復興の継承と地域防災力等の向上
- 社会的弱者を取り残さない包摂社会の実現（ヤングケアラー、課題を抱える妊産婦支援等）
- 生徒ファーストの視点に立った教育環境の整備（空調設備、部活動用具整備等）
- 兵庫の多様性を活かした多文化共生社会の推進（多文化共生総合相談センター等）
- 女性活躍の推進（ミモザ企業等）
- スポーツ・芸術文化による地域活性化

② 持続可能な地域の担い手の創出

- 持続可能な地域づくりに向けた担い手の確保
- ひょうごe-県民制度による関係人口の創出
- 地方回帰の流れを活かしたUターン者の創出

③ 地域の将来を担う人材の育成・確保

- 次代の兵庫を担う人づくり（兵庫型体験教育等）
- 大学との連携による人材の確保



環境

① 地球温暖化対策の推進

- 条例に基づく温室効果ガス削減の推進
- 時代を先導するカーボンニュートラルポートの形成
- 兵庫の特性を活かしたカーボンクレジットの創出

② 人と自然が共生する環境の創造

- ひょうごの生物多様性保全プロジェクトの推進
- 恵み豊かな海づくり（豊かで美しい瀬戸内海の再生）
- 野生鳥獣の活用促進による適正管理の促進

③ ものを大切に作る資源循環社会への転換

- ひょうごプラスチック資源循環コンソーシアムの展開
- 県民の行動変容の促進（フードドライブ運動等）



2 自治体SDGsモデル事業



タイトル SDGsを体現する「ひょうごフィールドパビリオン」を核とした地域価値創造、交流人口創出プロジェクト ～ Our Field, Our SDGs ～

概要 大阪・関西万博を契機に、兵庫全体をパビリオンに見立て、SDGsを体現する地域の活動現場への誘客を促進する「ひょうごフィールドパビリオン」を展開。交流人口創出による経済活性化、新たな価値創造の誘引による地域の好循環を創出

〔趣意〕兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた。「震災からの創造的復興」「人と環境にやさしい循環型農業」「豊饒な大地や海に育まれた食材」「挑戦を繰り返してきた地場産業」「郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた芸術文化」。地域を豊かにする取組には、世界が持続可能な発展を遂げていくための多くのヒントが秘められている。こうしたSDGsを体現する地域の活動を兵庫から世界へ発信する。「ひょうごフィールドパビリオン」という挑戦が始まる。

経済



挑戦を繰り返す地域産業の発信

- ① 地場産業のSDGs促進によるブランド化・オープンファクトリー実施のための環境整備
- ② 多彩な地域遺産を巡るツアーの造成、鳴門の渦潮世界遺産登録に向けた取組促進
- ③ 但馬牛、山田錦のブランド化・供給力向上



相乗効果(経済→環境)
SDGs推進による環境負荷の低減

相乗効果(環境→経済)
企業ブランド向上、進出企業の増加

相乗効果(経済→社会)
雇用創出による人材の確保

相乗効果(社会→経済)
多彩で優良な人材の持続的供給



社会

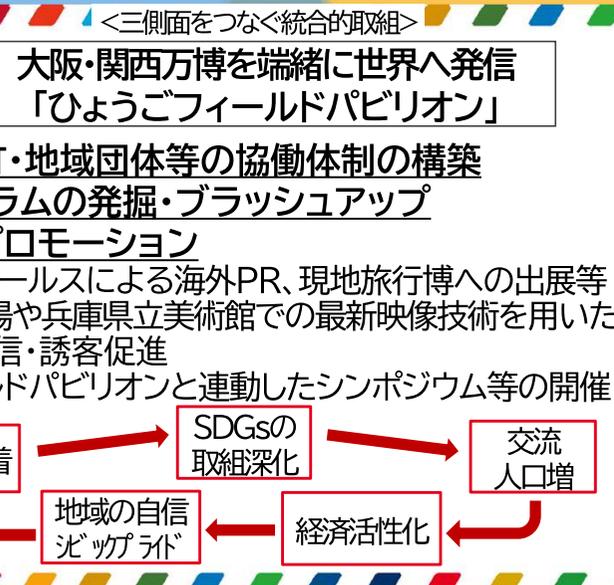
安全安心でこころ豊かに暮らせる地域づくり

- ① 創造的復興の理念の国内外(ウクライナ・トルコ等)への発信・防災ツーリズムの展開
- ② ユニバーサルツーリズムの推進に向けた環境整備
- ③ 先端医療技術を実感する体験型コンテンツの造成
- ④ スマートコミュニティの実現に向けたデジタル技術の地域実装
- ⑤ 兵庫の芸術文化を発信する多言語ポータルサイトの開設



相乗効果(社会→環境)
持続可能なライフスタイルの構築

相乗効果(環境→社会)
住環境の改善、地域の魅力向上



経済と環境の好循環の実現

環境

- ① 地域循環共生圏による自立・分散型社会の形成、次世代モビリティ・水素エネルギーの導入促進
- ② コウノトリ育む農法など環境創造型農業の拡大、耕畜連携の体制構築・取組促進
- ③ 失われた自然環境の回復と創造(尼崎21世紀の森構想に基づく環境改善・都市再生、六甲山の環境整備・体験型ツーリズムの実施、上山高原の保全・モデルツアーの造成)
- ④ 豊かで美しい瀬戸内海再生に向けた藻場・干潟の保全、ブルーカーボンの先進的活用

